

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・加古川市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	加古川文化遺産を活かした地域活性化プラン	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>加古川市の文化振興ビジョン（平成15年8月策定、平成22年9月改訂）にある「市民が歴史・風土・伝統・学習に対する関心を高め、主体的に文化的な活動に取り組む中で、交流・共有の輪を広げ、生活にうおいや豊かさをもたらす」とする基本目標を踏まえ、以下の事業を実施する。</p> <p>まず、加古川の民俗芸能の獅子舞・屋台運行を途絶えさせないために、次世代継承のための後継者育成と用具の修理を行い、民俗芸能保存団体の協議により企画・調整を行い、成果発表の場である祭礼を市民に周知し民俗芸能の興隆を図る。そして、市内の史跡整備が完成した史跡西条古墳群の古墳文化と、播磨の法隆寺と称される鶴林寺の仏教文化を加味した地域文化財を基盤に、古代から近代までの文化発展の先人の足跡を文化財講座として学習し、合わせて地域の民俗文化を継承しながら、21世紀の加古川のアイデンティティの確立と市民のアソシエーションの自覚に繋がる文化的基盤を形成する。これらの事業を総合的に展開するために、文化遺産ガイドボランティアグループを結成し人的基盤づくりを行い、市内の町づくり協議会とも連携し、文化遺産活性化の恒常的なガイドツアー体制の確立を図る。</p> <p>(1) 加古川文化遺産ガイドボランティア人材育成と文化遺産ガイドツアー実現（平成28～30年度） (2) 無形文化財の後継者育成、用具の修理（平成28～30年度） (3) 伝統文化継承の親子体験教室の開催（平成28～30年度） (4) 史跡西条古墳群を歴史体験場所として活用と、国登録建造物の公開活用推進（平成28～29年度）</p>			
6 実施体制			
<p>加古川市が、本実施計画の企画・調整や、各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。 教育委員会文化財調査研究センター：文化財の取扱等に関する指導・調整。 教育委員会社会教育スポーツ振興課：体験学習の調整 加古川観光協会：開催案内啓発の連携、地域文化課：文化振興調整 また事業の実施については、次の団体が実施 加古川文化遺産活性化実行委員会：構成団体（加古川市文化財保護協会、福留日岡神社神事保存会ほか50団体）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 77,413 千円	平成30年度申請額： 7,310 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>想定される効果</p> <p>1. 祭礼用具の修理と説明会開催により、昨年より参加者が各団体に村落外からの参加が平均40～50人増加している。3団体でアンケートをしたところ82%が来年も参加したいと回答した。平成28年度は、村落外からの参加10～20%増加しており、修理により新しくなった屋台や用具の説明会も効果が出てきているように思われ、平成29年度～平成30年度もこの傾向が続いていくことを目標とする。また志方では障がい者団体の参加人員が増加するなど、祭礼行事に新しい参加形態が生まれてきている。祭礼の継続は、地域の新旧住民が交流できる場を生みだし、保存会員にも地域の民俗芸能を継承していく意識向上に効果が見られる。こがれが民俗芸能団体連絡会の立ち上げに繋がっており、さらに平成26～28年度では、上ノ庄神社祭礼において3団体の共演が、平成29年度も継続している。また、平成29度には平之荘神社祭礼参加の3団体が共演イベントを開催し、平成30年度も継続していく考えである。これらは各団体相互の技量の向上に結び付くだけでなく、祭礼の親近感から認知度が広がり参加者の増加を生み、将来の観光イベント開催実現に結び付く効果となる。平成29年度は、市内民俗芸能40団体に対し用具整備を行ったのは33団体となり、用具整備の達成率は83%となった。</p> <p>2. 文化財を知る欲求が強いことから、加古川文化遺産活性化実行委員会では文化遺産ボランティアの会の発足を目指し、平成28年度にガイドボランティアのための講座開催によりボランティアの会を結成し（会員目標を平成30年度40人とする）、文化遺産コース（平成28年度に6コースを設定）の設定から、さらに祭礼行事も取り入れた文化遺産の総合的把握を行い、これを歴史文化基本構想の策定に繋げていく効果を生み出す。平成28年度の会員は34人、目標達成率は85%であったが、平成29年度は、4人の新規会員加入があり、募集目標40人に対し38人、95%となった。養成講座は、前年策定された文化遺産マップ「歩いてみよう！日岡山・西条古墳群」を印刷した。また、これに関連して国史跡西条古墳群にて文化遺産古墳地図原稿を使い、西条古墳群立地地域に呼びかけてプレ文化遺産ガイドツアーを11月3日に開催し、38名の参加があった。このガイドツアーの検討から広報等周知する方法が課題となった。この対応を十分に検討しながら、ガイドツアーへの展開を活発化させることを目指している。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	加古川市文化財講座（加古川市教育委員会主催、加古川市文化財保護協会協賛）毎年11月～12月に実施する文化財講座にて、文化財ニュース掲載の活性化事業活動記事を配布。
事業概要：	地元ケーブルテレビBANBAB放送による祭礼の番組制作と放映（予定）を行う。
事業概要：	市教委、観光協会のホームページに文化遺産ガイドコースを掲載する。
事業概要：	加古川観光協会ギャラリーにて加古川の祭り写真展を開催（平成28年度は寺院建築写真展開催）

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

加古川市の特性を踏まえた歴史文化基本構想を策定すべく、平成28年度に平成29年度歴史文化基本構想事業として要望書提出した。策定計画では、平成29年度に歴史文化基本構想のための事前基礎調査を行い、策定検討委員会を立ち上げ、その討議検討を踏まえて歴史文化基本構想を策定成文化し、平成31年度に印刷等で周知し、その実行に向けて進展させていくことを目標にしている。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	加古川市教育委員会 文化財調査研究センター
-----------------	-----------------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	民俗祭礼団体の地域への積極的周知による、平之荘神社秋祭り等の祭礼参加者数の増加を図る			関連事業:	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	
目標値1:	【現状値】平成29年度 3,000人 ⇒ 【目標値】平成30年度 4,500人					
設定根拠1:	平成27年度の加古川「市まちづくり戦略」の入込客数を参考に、伸び率1.03倍として設定					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
人	人	人	3,000人	4,500人	人	
			0%	100%		
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	用具の修理整備による民俗祭礼後継者の恒常的確保			関連事業:	⑦⑧⑨	
目標値2:	【現状値】平成29年度 1,500人 ⇒ 【目標値】平成30年度 2,000人					
設定根拠2:	平成28年度までの保存会全体の会員(後継者)数が平均伸び率5%に対し、2倍の10%を確保					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
人	人	人	1,500人	2,000人	人	
			0%	100%		
目標区分3:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	自主事業としての文化遺産ガイドツアーの複数開催による参加者数の増加と、加古川市への来訪者を増やす効果に繋げる			関連事業:	①	
目標値3:	【現状値】平成29年度 38人 ⇒ 【目標値】平成30年度 200人					
設定根拠3:	ボランティア団体の結成と文化遺産案内地図配布による公民館等へのガイドツアー開催数増加の取り組み。 平成29年度は、公民館高齢者大学の186人に、国史跡西条古墳群等のガイドツアーを行った。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
人	人	人	186人	200人	人	
			91%	100%		

目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産への来場者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 4 :	国史跡西条古墳群の歴史体験場所としての活用			関連事業:	①	
目標値 4 :	【現状値】 平成 29 年度 38 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 100 人					
設定根拠 4 :	史跡整備が完了する国史跡西条古墳群を会場にガイドボランティアによる歴史体験教室の開催 史跡整備完了が29年度となったため、平成30年度に小中学校へ文化遺産地図配布と募集。 平成29年度のプレガイドツアー参加者38人を超える人数を目標とする。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	38 人	100 人	人	
			0%	100%		

8(2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	加古川文化財を知る話すガイドボランティア講座				実施団体：	加古川文化遺産活性化実行委員会	
事業区分：	人材育成				事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度	
事業概要：	平成28年度にガイドボランティア育成事業から結成したガイドグループ「まほろば案内の会」が、ガイドコースの策定討議を行ってきた。平成29年度はこれをもとに文化遺産案内地図作成を自ら行っている。さらにガイドツアーのためにさらに詳細な歴史知識を体得するために、文化遺産の現地に赴き、講師から専門的に掘り下げた説明を受ける学習講座を、平成29年度に続き平成30年も行い。そして、平成30年度には、完成した文化遺産地図をテキストに、まず古墳と用水のガイドツアーを行う計画である。						
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	「まほろば案内の会」会員数40名を目標に活動し、さらに会員増を図り、50人2班体制で活動を展開したい。						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 38 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 40 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
人	人	人	38 人	40 人	人	人	
			0%	100%			
事業②：	日岡神社秋祭り渡御用品整備事業				実施団体：	日岡神社祭保存会	
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 年度	
事業概要：	日岡神社秋祭りの渡御行列で使用される太刀、朱大傘、薙刀が長年の使用により損傷しており、今後も祭を継承し使用したいため修理を行う。秋祭りの参加者の前で、修理説明会を開催する。						
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市内でもよく知られた渡御行列の祭礼であり、衣装の由来を参加者に説明していくことにより、日岡神社秋祭りの参加者の増加に繋げたい。						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 900 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 950 (単位)						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
(単位)	(単位)	(単位)	900 (単位)	950 (単位)	(単位)	(単位)	
			0%	100%			

事業③：	上ノ庄神社秋祭り屋台整備事業					実施団体：	船町屋台保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度				
事業概要：	修理の検討から、屋根木組みを解体し、使用できる部材とそうでないものを分別し、使用できない部材を同じ檜材により取り替え修理する。修理完成後は、秋祭りの場で修理説明会を開催する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	祭礼参加者増加を地域交流の活性化と捉え、地域外にも呼びかけ上ノ庄神社秋祭りの参加者の5%の増加を目標としたい。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 420 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 450 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
人	人	人	420 人	450 人	人						
			0%	100%							
事業④：	中西条八幡神社秋祭り獅子頭整備事業					実施団体：	中西条祭保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度				
事業概要：	長年使用してきた獅子頭が、経年劣化により頭髪、漆剥落、割れが生じている。今後も使用したいため修理を行う。修理完成時には、秋祭り獅子舞の場で説明会を開催する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	祭礼を地域活性化の交流の場と捉え、地域外にも呼びかけ中西条八幡神社秋祭りの参加者10%増を目指したい。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 580 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 670 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
人	人	人	580 人	670 人	人						
			0%	100%							
事業⑤：	上ノ庄神社秋祭り屋台金具、獅子頭整備事業					実施団体：	都染屋台保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 年度				
事業概要：	上ノ庄神社秋祭りに使用される屋台が長年の使用により、屋台金具が損傷しており、接合修理と再メッキを行う。獅子頭は、頭部亀裂を補修し、同等同色で仕上げ植毛する。今後も祭で使用したいため修理する。修理の成果は、秋祭りに修理説明会を開催する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	祭礼参加者を地域活性化と捉え、上ノ庄神社秋祭りの参加者を5～10%増加させていきたい。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 250 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 280 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
人	人	人	250 人	280 人	人						
			0%	100%							

事業⑥：	今福八幡神社渡御祭礼衣装整備事業				実施団体：	今福八幡神社祭保存会	
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度	
事業概要：	今福八幡神社秋祭りの渡御行列で使用される担い手装束を、写真等で検討し本来の装束として新調する。秋祭り渡御行列の時に修理説明会を開催する。						
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市内でも数少ない渡御行列祭礼であり、今福八幡神社渡御祭礼の参加者を10%づつ増加していきたい。						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 200 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 220 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
人	人	人	200 人	220 人	人		
			0%	100%			
事業⑦：	野村八幡神社秋祭り太鼓乗り子襦袢・頭巾、撥 整備事業				実施団体：	野村祭り保存会	
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度	
事業概要：	野村屋台の太鼓囃子の衣装が、経年劣化しているため、刺繍と生地を染め直し損傷を修理する。撥も使用劣化しているため、使用しているものと同等のものを新調する。秋祭りの会場において、衣装修理と新調撥の修理説明会を開催する。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保持事業終了後も、継続して野村八幡神社秋祭りの屋台太鼓を伝承していくとともに、後継者も養成していく。						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 25 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 30 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
人	人	人	25 人	30 人	人		
			0%	100%			
事業⑧：	下西条八幡神社秋祭り屋台屋根整備事業				実施団体：	下西条八幡神社神事獅子舞保存会	
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度	
事業概要：	下西条八幡神社秋祭りに運行される屋台は30年を経過し、屋台屋根の羅紗幕に経年劣化の損傷と飾り房にも脱落があり、金欄網、梵天に亀裂が生じている。羅紗幕を同等の生地で作成し、金欄網、飾り房を縫いと房修理を行い、梵天は亀裂を接合鍍金を行う。修理の成果は、秋祭り会場で説明会を開催する。						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	補助事業終了後も、下西条八幡神社秋祭りの屋台太鼓を継承伝承し、併せて後継者も養成していく。						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 36 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 45 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
人	人	人	36 人	45 人	人		
			0%	100%			

事業⑨：	神野北八幡神社秋祭り天狗衣装、持ち物新調整備事業					実施団体：	神野北神事保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 年度				
事業概要：	神野北八幡神社秋祭りの天狗衣装は、色褪せ劣化が生じているため新調する。天狗は四人で構成されているが、現在持ち物（瓢箪）は二人分しかなく、二人分を新調する。新調したものについては、秋の祭礼時に説明会を開催する。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	補助事業修理後も、継続して神野北八幡神社秋祭りを伝承するとともに、併せて後継者も育成していく。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 20 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 30 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
人	人	人	20 人	30 人	人						
			0%	100%							
事業⑩：	福留日岡神社秋祭り赤天狗面、烏天狗面整備事業					実施団体：	福留日岡神社神事保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 年度				
事業概要：	福留日岡神社秋祭りの赤天狗面は、長年の使用により割れが生じ接着剤で付けられている。烏天狗面も経年劣化が生じている。そのため、赤天狗面、烏天狗面を、今後も祭礼で使用していくために修理を行う。修理の成果は、秋の祭礼時に説明会を開催し披露説明する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	後継者育成のため伝統文化親子教室を行い育成継承に努めているとともに、福留日岡神社秋祭りの親子での祭礼参加者増加を図りたい。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 182 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 190 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
人	人	人	182 人	190 人	人						
			0%	100%							